

# 第1回 保険ニュース杯四十雀サッカー大会(大会概要)

■期日:2018/9/2 ■場所:中台球技場 ■主催:成田市サッカー協会 ■主管:同協会5種部会  
 ■共催:成田市体育協会 ■後援:株式会社保険ニュース ■開会式:08:30 ■試合開始:09:00  
 ■事務局:成田SSS ■大会会長:早乙女清和 ■大会顧問:



## 【大会概要と開催経緯】

この大会の歴史は古く、当時の4種コーチ要望もあり、市協会創立の翌年(昭和59年)から「成田市四十雀サッカー大会」と称し第1回大会が開催され、平成6年の第11回から成田ケーブルテレビ(NCATV)杯の冠大会となった。今年から新たなスポンサーが付き、大会名を「保険ニュース杯四十雀サッカー大会」と称して第1回大会とした。初回大会から数えると35年度目に当たる。5種事業では春のホテルウェルコ成田杯と並び2大カップ戦のひとつ。初回大会覇者は記録無く不明、昨年大会はチャレンジ:LEGAME佐倉、エンジョイ:CPFC。通算成績はNKがチャレンジ:7回、エンジョイ:4回(NKエミ:+3回)でトップ



◆株保険ニュース(篠塚氏) ◆来賓:小泉成田市長挨拶 門馬体育協会会長/市協会顧問 ◆選手宣誓を受ける大会会長:早乙女会長



◆チャレンジの部優勝FCボレイロ成田イレブン



◆エンジョイの部優勝:CPFCイレブン

# 第1回 保険ニュース杯四十雀サッカー大会(チャレンジの部)

## 【大会結果 チャレンジ部門】

今年のチャレンジの部には3ブロック制で10チームがエントリー。LEGAME佐倉が連覇を目指します。対抗はFCボレイロ、NKアーセナルですが、ボレイロはLEGAME佐倉と同組(A組)、予選Lで優勝候補同士のつぶし合いになりました。結果はLEGAME佐倉がボレイロに1-0で競り勝ち1勝1分けで1位抜け。ボレイロは2位ながら大会規定で決勝Tに進みます。

B組は順当にNKアーセナルが2勝で決勝に駒を進めます。C組は混戦が予想されましたが、三里塚ブルービィが固い試合運びで2勝し、1位抜けします。

準決勝組合せがA組1位と各ブロック2位成績上位であり、LEGAME佐倉対FCボレイロが再び準決勝で戦い、予選Lの借りをボレイロが返して決勝に進みます。もうひとつの準決はNKアーセナル対三里塚ブルービィ、三里塚も善戦しましたが一歩及ばずNKアーセナルが1-0で決勝です。

NKアーセナルが勝てば本大会10年振り通算8回目(H20年以來)のチャレンジ部門優勝になります。宇野総監督も思わず力が入りますが、チームは体力消耗のうえメンバーも不足で決勝で戦う前に勝敗が予想できる状況でした。試合はその予想どおりFCボレイロが先制し、その後もNKの攻撃を受けながらも枠を割れせず着実に加点し、終わってみれば3-0の完勝、通算2度目の優勝を決めました。

■勝点と同じ場合:①得失点差、②総得点、③当該対戦の最大得点、④PK

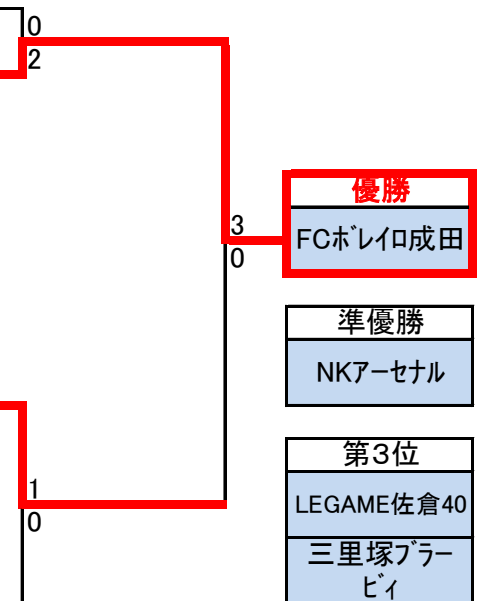
### 【予選ブロック】

A組	LEGAME佐倉	FCボレイロ成田	旭FC	勝点	得点	失点	得失点	順位
LEGAME佐倉40		○ 1 - 0	△ 1 - 1	4	2	1	1	1
FCボレイロ成田	● 0 - 1		○ 4 - 0	3	4	1	3	2
旭FC	△ 1 - 1	● 0 - 4		1	1	5	-4	3

### 【決勝トーナメント】

B組	公津FC40	日吉台ロッソネロ	NKアーセナル	勝点	得点	失点	得失点	順位
公津FC40		○ 3 - 0	● 0 - 2	3	3	2	1	2
日吉台ロッソネロ	● 0 - 3		● 0 - 1	0	0	4	-4	3
NKアーセナル	○ 2 - 0	○ 1 - 0		6	3	0	3	1
				0	0	0		

C組	栄RFC40	酒々井	三里塚	成田SSS	勝点	得点	失点	得失点	順位
栄RFC40		○ 2 - 0	● 0 - 2	△ 0 - 0	3	2	2	0	2
酒々井ナツレー	● 0 - 2		○ 0 - 0	● 0 - 1	0	0	3	-3	4
三里塚ブルービィ	○ 2 - 0	○ 0 - 0		○ 2 - 0	6	4	0	4	1
成田SSSユ	○ 1 - 0	● 0 - 2	○ 0 - 0		3	1	2	-1	3



◆NCATV杯大会から数えて2度目の優勝に湧くFCボレイロイレブン

◆NKの追撃を断ち切るボレイロの守備陣

# 第1回 保険ニュース杯四十雀サッカー大会(エンジョイの部)

【大会結果 エンジョイ部門】

平成15年度から設立されたエンジョイ部門の優勝回数は、NKエミが7回でダントツトップ、2位は2回でCPFC、NFC、八街FCの3チームが並び、勢いは昨年優勝のCPFCが本命、それにNKエミとLEGAME佐倉、そしてダークホースの公津・酒々井連合がどう戦うかになります。

予選A組は、その公津・酒々井連合が圧倒、前2枚のFWだけで7-0、4-0と2勝し、他を寄せ付けず1位抜け。予選B組は本命CPFCが無難に試合をこなし2勝で1位抜けし安定した強さを感じさせます。

予選C組はLEGAME佐倉5-0とNKエミが競り合う展開と予想されましたが、NKエミが2勝で危なげなく1位抜けし、意外にLEGAME佐倉が2敗であっさり予選敗退。

準決勝1戦目はCPFCがNKエミを8-0の大差で圧倒。NKエミの10年振り優勝をあっさり阻みます。こちらにFWも得点力では見劣りしません。準決勝2試合目は公津・酒々井連合も6-1でNFCシャドーズに圧勝。両チームともFW力で勝ちこんできただけに、決勝戦が見ものとなりました。

決勝戦は文字通りFW戦ながら、双方の守備陣も負けず、CPFCもここまで19得点の公津・酒々井連合を寄せ込みます。対して公津・酒々井側も15得点のCPFCのFWにベタ付きでガチンコ勝負を挑みます。しかし、運動量が落ちてきた頃、CPFCの攻撃力が勝り3点目を入れてから追撃も断ち切り大会連覇しました。

## 【予選ブロック】

■勝点と同じ場合:①得失点差、②総得点、③当該対戦の最大得点、④PK

A組	日吉台 ビアゴ	公津・酒々井50	三里塚 アルテ	勝点	得点	失点	得失点	順位
日吉台 ビアゴ	●	●		0	0	10	-10	3
公津・ 酒々井50	○	○		6	11	1	10	1
三里塚 アルテ	○	●		3	4	4	0	2

B組	CPFC	成田SSS50	NFCシャドーズ	勝点	得点	失点	得失点	順位
CPFC	○	○		6	7	1	6	1
成田 SSS50	●	●		0	1	9	-8	3
NFCシャ ドーズ	●	○		3	6	4	2	2
				0	0	0		

C組	栄RFC50	NKエミ	LEGAME佐倉	勝点	得点	失点	得失点	順位
栄 RFC50	●	○		3	3	3	0	2
NKエミ	○	○		6	4	1	3	1
LEGAM E佐倉	●	●		0	3	6	-3	3
				0	0	0		

## 【決勝トーナメント】



- 優勝**  
CPFC
- 準優勝**  
公津・酒々井50
- 第3位**  
NKエミ
- NFCシャドーズ



◆2度目の優勝を飾ったCPFCイレブン

◆決勝:公津・酒々井連合との熱戦